

事務事業評価調書

施策体系	交流五国				所管課班	県民生活課ふるさと交流班			
事業名	ふれあいの祭典の開催（平成元年度～）				連絡先	078-362-3992			
事業に要するコスト	区分	30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額	
	事業費①	35,000千円		20,000千円		20,000千円		20,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	34,800千円		19,800千円		19,800千円		19,800千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	200千円		200千円		200千円		200千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(15,000千円)		(10,000千円)		(10,000千円)		(10,000千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他〔地域振興基金・地域創生基金〕）	(20,000千円)		(10,000千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(10,000千円)		(10,000千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	3.0人		3.0人		3.0人		3.0人
			26,031千円		25,197千円		26,949千円		26,205千円
		職員給与費 a	23,448千円		21,813千円		23,085千円		22,821千円
		賞与引当金繰入額 b	1,644千円		1,746千円		1,644千円		1,746千円
退職手当引当金繰入額 c		939千円		1,638千円		2,220千円		1,638千円	
総コスト（①+②）	従事人員	3.0人		3.0人		3.0人		3.0人	
		61,031千円		45,197千円		46,949千円		46,205千円	
	〔うち事業拡大分〕	[15,000千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】		
	ふれあいの祭典来場者数 （活力あるふるさと兵庫実現プログラム）	目 標	100,000	55,000	57,500	60,000	60,000		
		実績（見込）	107,000	57,000	-	(60,000)	【令和3年度】		
		（単位当たりコスト）	(1千円)	(1千円)	-	(1千円)	/		
		〔うち事業拡大分〕	[0千円]	-	-	-			
	達成率（見込）	107.0%	103.6%	--	(100.0%)				
	（空白）	目 標					/		
		実績（見込）							
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	/		
		〔うち事業拡大分〕							
達成率（見込）	--	--	--	--					
評価	<p>・（開催地域が持ち回りであるため）開催地域の人口や会場の交通利便性、開催当日の天候に大きく左右される。なお、令和2年度については、現地開催に向けて鋭意準備を進めていたが、新型コロナウイルスの感染急拡大を踏まえWEB開催に変更した特殊事情により、実績値（来場者数）を未記入とする。</p> <p>・本事業は、多くの人々が地域や兵庫県の魅力を発見し、地域づくり活動の活性化や新たな交流の契機となる場として有効である。令和3年度は感染防止対策を徹底した会場開催により、県民交流の充実と満足度の向上等に努める。</p>								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	交流五国			所管課班	地域創生局 地域創生担当				
事業名	首都圏等での“ひょうご五国”の認知度向上事業（平成28年度～）			連絡先	078-362-4263				
事業に要するコスト	区分	30年度決算額	元年度決算額	2年度当初予算額	3年度当初予算額				
	事業費①	46,558千円	27,695千円	27,695千円	30,027千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		委託料	45,877千円	26,314千円	21,495千円	28,031千円			
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	681千円	1,381千円	6,200千円	1,996千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(23,279千円)	(13,847千円)	(13,847千円)	(15,013千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他[]）	(23,279千円)	(13,848千円)	(0千円)	(0千円)			
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(13,848千円)	(15,014千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	3.0人	従事人員	3.0人	従事人員	3.0人	従事人員	3.0人
			26,031千円	26,712千円	26,949千円	26,205千円			
		職員給与費 a	23,448千円	23,124千円	23,085千円	22,821千円			
		賞与引当金繰入額 b	1,644千円	1,635千円	1,644千円	1,746千円			
退職手当引当金繰入額 c		939千円	1,953千円	2,220千円	1,638千円				
総コスト（①+②）	従事人員	3.0人	従事人員	3.0人	従事人員	3.0人	従事人員	3.0人	
		72,589千円	54,407千円	54,644千円	56,232千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	移住相談件数(累計) (地域創生アクション・プラン)	指標	6,200	12,300	18,100	24,500	47,300		
		実績(見込)	11,409	17,289	(18,100)	(24,500)	【令和6年度】		
		(単位当たりコスト)	(6千円)	(3千円)	(3千円)	(2千円)	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
		達成率(見込)	184.0%	146.3%	(100.0%)	(100.0%)			
	カムバックひょうごセンターでの相談を経由した移住者数(累計) (地域創生アクション・プラン)	指標	78	108	153	198	333		
		実績(見込)	107	150	(235)	(280)	【令和6年度】		
		(単位当たりコスト)	(678千円)	(363千円)	(233千円)	(201千円)	/		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
		達成率(見込)	137.2%	138.9%	(130.4%)	(141.4%)			
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・社会増対策の一環として県外人口の流入を促進するためには、首都圏及び関西圏等における“兵庫の認知度向上”を図る本事業の実施が不可欠である。 ・令和2年度は、ひょうごe-県民制度やカムバックひょうごセンター等と連携し、首都圏及び関西圏における兵庫の認知度向上を図り、移住・定住人口、関係人口の拡大を図ることができた。 ・引き続き、関係人口の捕捉等、第二期地域創生戦略に沿って、首都圏・関西圏を中心に兵庫県への人口流入の流れをつくる。 								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系		交流五国		所管課班		広報戦略課広報戦略班				
事業名		広報活動の推進		連絡先		078-362-9023				
事業に要するコスト	区 分		30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額	
	事業費①		575,535千円		572,820千円		584,723千円		598,936千円	
	経費内訳	報酬・賃金	27,941千円		26,074千円		23,076千円		29,859千円	
		委託料	471,010千円		478,294千円		495,740千円		509,354千円	
		補助金・交付金	7,535千円		7,535千円		7,535千円		7,535千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他需用費等	69,049千円		60,917千円		58,372千円		52,188千円	
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(0千円)		(8,537千円)		(9,630千円)		(35,184千円)	
		(県債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(その他[])	(91,192千円)		(79,278千円)		(60,911千円)		(60,911千円)	
		(一般財源)	(484,343千円)		(485,005千円)		(514,182千円)		(502,841千円)	
	人件費② (a+b+c)		従事人員	18.0人	従事人員	19.0人	従事人員	19.0人	従事人員	19.0人
			156,186千円		159,581千円		170,677千円		165,965千円	
	職員給与費 a		140,688千円		138,149千円		146,205千円		144,533千円	
	賞与引当金繰入額 b		9,864千円		11,058千円		10,412千円		11,058千円	
退職手当引当金繰入額 c		5,634千円		10,374千円		14,060千円		10,374千円		
総コスト (①+②)		従事人員	18.0人	従事人員	19.0人	従事人員	19.0人	従事人員	19.0人	
		731,721千円		732,401千円		755,400千円		764,901千円		
[うち事業拡大分]		[53,337千円]		[9,952千円]		[0千円]		[28,981千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】			
	広報官等による職員研修の受講人数	目 標	—	500	500	500	500			
		実績(見込)	564	685	(326)	(685)				
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—				
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—				
	達成率(見込)	—	137.0%	(65.2%)	(137.0%)					
	インターネットを活用した県広報媒体効果測定調査で「広報活動の認知」に対し「知っている」と回答した割合 ※調査は平成30年度から実施 ※()内は総コスト/兵庫県人口 (各年度1月1日時点) H30 5,481千人 H31 5,481千人 R2 5,460千人 R3 5,435千人	目 標	—	57.0%	59.0%	61.0%	65.0%			
		実績(見込)	56.2%	62.0%	(69.9%)	(69.9%)	【令和5年度】			
(単位当たりコスト)		(133.5円)	(133.6円)	(138.4円)	(140.7円)					
[うち事業拡大分]		(9.7円)	(1.8円)	—	(5.3円)					
達成率(見込)	—	108.8%	(118.5%)	(114.6%)						
評価	<p>・ 県政情報や県の魅力を分かりやすく発信するため、専門人材である広報官等による統一コンセプトのもと、職員研修や戦略的な指導・助言を通じ県庁全体の広報力強化を行うとともに、本県の魅力（五国の多様性、県民主役・地域主導）に基づくブランディング戦略に取り組んでいる。</p> <p>・ R2年度は、職員研修（326人）やポスター等デザインの指導・助言を行い、県民目線での広報展開を進めている。また、「兵庫五国連邦（U5H）プロジェクト」においては、Eメール投稿数が1,500件を越えるなど、地域への誇りや愛着の醸成、県内企業との連携も進んでいる。</p> <p>※新型コロナウイルスの影響で中止となった研修については、研修内容を動画で配信する等により対応</p> <p>・ R3年度はこれまでの取り組みを活かしつつ、研修内容の充実（SNS等の実践的研修の実施）、相談需要増加への対応（外部人材配置の再編）等により、更なる全庁広報力の充実・強化を図る。</p>									
3年目の見直し	—									

事務事業評価調書

施策体系		交流五国		所管課班		地域創生局		地域創生担当						
事業名		首都圏等からの兵庫への移住促進（平成27年度～）		連絡先		078-362-4263								
事業に要するコスト	区 分		30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額					
	事業費①		44,978千円		45,108千円		45,297千円		53,594千円					
	経費内訳	報酬・賃金	5,860千円		5,860千円		6,666千円		7,850千円					
		委託料	18,397千円		19,048千円		16,362千円		29,479千円					
		補助金・交付金	50千円		50千円		50千円		50千円					
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円					
		その他需用費等	20,671千円		20,150千円		22,219千円		16,215千円					
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(22,489千円)		(22,554千円)		(22,648千円)		(32,922千円)					
		(県債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)					
		(その他[])	(22,489千円)		(22,554千円)		(0千円)		(0千円)					
		(一般財源)	(0千円)		(0千円)		(22,649千円)		(20,672千円)					
	人件費② (a+b+c)		従事人員	3.0人	従事人員	3.0人	従事人員	3.0人	従事人員	3.0人				
			26,031千円		26,712千円		26,949千円		26,205千円					
		職員給与費 a	23,448千円		23,124千円		23,085千円		22,821千円					
		賞与引当金繰入額 b	1,644千円		1,635千円		1,644千円		1,746千円					
	退職手当引当金繰入額 c	939千円		1,953千円		2,220千円		1,638千円						
総コスト (①+②)		従事人員	3.0人	従事人員	3.0人	従事人員	3.0人	従事人員	3.0人					
		71,009千円		71,820千円		72,246千円		79,799千円						
[うち事業拡大分]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		[15,492千円]						
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区 分		30年度実績		元年度実績		2年度見込		3年度目標		最終目標【年度】	
	移住相談件数(累計) (地域創生アクション・プラン)		目 標		6,200		12,300		18,100		24,500		47,300	
			実績(見込)		11,409		17,289		(18,100)		(24,500)		【令和6年度】	
			(単位当たりコスト)		(6千円)		(12千円)		(89千円)		(12千円)		/	
			[うち事業拡大分]		-		-		-		[2千円]			
	達成率(見込)		184.0%		140.6%		100.0%		(100.0%)					
	カムバックひょうごセンターでの相談を経由した移住者数(累計) (地域創生アクション・プラン)		目 標		78		108		153		198		333	
			実績(見込)		107		154		(235)		(280)		【令和6年度】	
			(単位当たりコスト)		(664千円)		(1,528千円)		(892千円)		(50千円)		/	
			[うち事業拡大分]		-		-		-		[344千円]			
達成率(見込)		137.2%		(142.6%)		(153.6%)		(141.4%)						
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・本県からの主な人口転出先となっている首都圏及び関西圏での情報発信力を強化し、UJIターンを促進する必要がある。 ・東京及び神戸のカムバックひょうごセンターにおける移住相談は、首都圏及び関西圏での情報発信力強化や移住希望者の負担軽減などにより、兵庫県への移住者増加の効果が期待できることから、政策目的と照らし合わせて事業の実施は妥当である。 ・相談件数の状況については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う大規模イベント等の中止のため減少したが、窓口での相談や、移住者数は増加している。引き続きリモート相談やオンラインイベントを行うことで、情報提供に努める。 ・令和3年度は、首都圏での移住相談窓口である「ひょうご移住プラザ」の業務内容を充実するとともに、大阪にも相談窓口を開設し、全国からの移住相談に応じる体制を強化する。 													
3年目の見直し	-													

事務事業評価調書

施策体系	交流五国				所管課班	広聴課広聴相談班		
事業名	県民交流バス事業（平成30年度～）※H29は「走る県民教室実施費」を記載				連絡先	078-362-3022		
事業に要するコスト	区分	30年度決算額	元年度決算額	2年度当初予算額	3年度当初予算額			
	事業費①	44,082千円	43,243千円	60,042千円	60,042千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	43,793千円	42,987千円	59,750千円	59,750千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	289千円	256千円	292千円	292千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(14,941千円)	(17,530千円)	(30,021千円)	(30,021千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他[地域創生基金]）	(29,141千円)	(25,713千円)	(0千円)	(0千円)		
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(30,021千円)	(30,021千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	4.8人	4.8人	4.8人	4.8人		
			41,649千円	40,316千円	43,118千円	41,929千円		
		職員給与費 a	37,517千円	34,901千円	36,936千円	36,514千円		
賞与引当金繰入額 b		2,630千円	2,794千円	2,630千円	2,794千円			
退職手当引当金繰入額 c		1,502千円	2,621千円	3,552千円	2,621千円			
総コスト（①+②）	従事人員	4.8人	4.8人	4.8人	4.8人			
		85,731千円	83,559千円	103,160千円	101,971千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】	
	実施台数 （地域創生戦略アクションプラン（事業KPI））	目標		2,000	通常分1,500 特別枠 500	通常分 1,300 特別枠 (五国) 500 (花みどり)300	通常分 1,100 特別枠 (五国) 500 (花みどり)500	2,000
		実績（見込）		1,647	通常(1,310) 特別 (309)	通常分 287 特別枠 (五国) 40 (花みどり)0	通常分 1,100 特別枠 (五国) 500 (花みどり)500	
		（単位当たりコスト）		(52千円)	(52千円)	(315千円)	(49千円)	
		[うち事業拡大分]		-	-	-	-	
	達成率（見込）		82.4%	81.0%	(15.6%)	(100.0%)		
	県民局管外への見学台数割合 ※R3目標値 ・通常分:過去3ヶ年の管外割合の最高率92.6%を基本とする。 1,100台×92.6%≒1,019台 ・特別枠(五国):100% (県民局管外の見学が要件) 500台×100%=500台 ・特別枠(花みどり):通常分の率を適用 500台×92.6%=463台 1,019+500+463=1,982台 1,982台/2,100台≒94%	目標		91.5%	93.0%	94.0%	94.0%	94.0%
		実績（見込）		92.6%	92.6%	(94.0%)	(94.0%)	
		（単位当たりコスト）		-	-	-	-	
		[うち事業拡大分]		-	-	-	-	
達成率（見込）		101.2%	99.6%	(100.0%)	(100.0%)			
評価	<p>・令和元年度には、日本遺産の認定を受けて盛り上がる地域をはじめ、ひょうご五国の宝である地域遺産を巡るコース特別枠「ひょうご五国めぐり」を新設し、前年度を上回る実績が見込める状況であったが、3月に新型コロナウイルス感染症拡大によるキャンセルが多数発生し、前年度を若干下回った。</p> <p>・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、6月に座席間隔を空けた利用を推奨し、参加団体の負担軽減のため補助金額を拡充を行ったが、年度当初から新型コロナウイルス感染症の影響を受け大幅に減少している状況である。</p> <p>・令和3年度は、令和2年度と同様に県民交流バス実施台数を100台増やし2,100台とし、通常枠に加え特別枠「淡路花博20周年記念 花みどりフェア」500台、「五国めぐり」500台を設け、自然や歴史・食文化など淡路島の魅力を発信する花みどりフェアや五国間の交流を盛り上げる。</p>							
3年目の見直し								

事務事業評価調書

施策体系	交流五国				所管課班	地域創生局 地域創生担当				
事業名	ひょうごe-県民登録事業				連絡先	078-362-4374				
事業に要するコスト	区 分		30年度決算額	元年度決算額	2年度当初予算額	3年度当初予算額				
	事業費①		—	81,296千円	48,478千円	66,423千円				
	経費内訳	報酬・賃金	—	0千円	0千円	0千円				
		委託料	—	77,896千円	46,778千円	62,753千円				
		補助金・交付金	—	0千円	0千円	0千円				
		貸付金	—	0千円	0千円	0千円				
		その他需用費等	—	3,400千円	1,700千円	3,670千円				
		(財源内訳)	(国庫支出金)	—	(39,212千円)	(20,627千円)	(44,959千円)			
		(県債)	—	(0千円)	(0千円)	(0千円)				
		(その他[基金、寄付金])	—	(42,084千円)	(7,224千円)	(4,176千円)				
		(一般財源)	—	(0千円)	(20,627千円)	(17,288千円)				
	人件費② (a+b+c)		従事人員	—	従事人員	3.0人	従事人員	3.0人	従事人員	2.0人
				—	26,712千円	26,949千円	17,470千円			
		職員給与費 a	—	23,124千円	23,085千円	15,214千円				
		賞与引当金繰入額 b	—	1,635千円	1,644千円	1,164千円				
	退職手当引当金繰入額 c	—	1,953千円	2,220千円	1,092千円					
総コスト (①+②)		従事人員	—	従事人員	3.0人	従事人員	3.0人	従事人員	2.0人	
			—	108,008千円	75,427千円	83,893千円				
[うち事業拡大部分]			—	[0千円]	[0千円]	[27,672千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】			
	ひょうごe-県民の登録者数(累計)(地域創生アクション・プラン)	目 標	—	20,000	50,000	65,000	100,000			
		実績(見込)	—	31,076	(50,000)	(65,000)	【令和6年度】			
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—				
		[うち事業拡大部分]	—	—	—	—				
	達成率(見込)	—	155.4%	(100.0%)	(100.0%)					
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏や大阪府等への人口流出が続く一方で、本県から転出し全国で活躍する兵庫にゆかりのある人の力を活用し、地域の元気づくりに活かしていくために、兵庫県と県外在住者とのネットワーク化が必要である。 ・令和2年度は16,000人を超える方に登録いただき、スマートフォン向けアプリを通じた県内情報の配信やオンラインショップの充実により、関係人口の拡大、ひょうごe-県民登録者とのネットワーク化を図ることができた。 ・転出超過や少子高齢化により地域の担い手確保が課題となる中、定住人口でも交流人口でもない関係人口を活用した地域の元気づくりが期待できることから、政策目的と照らし合わせて事業の実施は妥当である。 ・令和3年度はオンラインショップでポイント還元や送料無料などの購入者へのインセンティブを付与することで、利用促進を図る。 									
3年目の見直し	—									

事務事業評価調書

施策体系	交流五国			所管課班	兵庫津ミュージアム整備室企画整備班				
事業名	兵庫津ミュージアム開館準備事業			連絡先	078-362-4004				
事業に要するコスト	区分	30年度決算額	元年度決算額	2年度当初予算額	3年度当初予算額				
	事業費①	—	—	—	7,407 千円				
	経費内訳	報酬・賃金	—	—	—	0 千円			
		委託料	—	—	—	3,449 千円			
		補助金・交付金	—	—	—	0 千円			
		貸付金	—	—	—	0 千円			
		その他需用費等	—	—	—	3,958 千円			
		(財源内訳)	(国庫支出金)	—	—	—	(3,703千円)		
		(県債)	—	—	—	(0千円)			
		(その他[])	—	—	—	(0千円)			
		(一般財源)	—	—	—	(3,704千円)			
	人件費② (a+b+c)	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	1.0人
			—	—	—	8,735 千円			
		職員給与費 a	—	—	—	7,607 千円			
		賞与引当金繰入額 b	—	—	—	582 千円			
退職手当引当金繰入額 c		—	—	—	546 千円				
総コスト (①+②)	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	1.0人	
		—	—	—	16,142 千円				
	[うち事業拡大分]	—	—	—	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】		
			実績(見込)	—	—	—	62,500	62,500	
	来館者数	目 標	—	—	—	62,500	62,500		
		実績(見込)	—	—	—	(62,500)	【令和3年度】		
		(単位当たりコスト)	—	—	—	(0 千円)	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率(見込)	—	—	—	(100.0%)				
	来館者数	目 標	—	—	—	—	/		
		実績(見込)	—	—	—	—			
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率(見込)	—	—	—	—				
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立兵庫津ミュージアム（仮称）のうち、初代県庁館（仮称）が令和3年度に開館することにあわせて式典やイベント連携事業を展開する。 ・ 本事業の推進により、兵庫津の歴史や本県の成り立ち、兵庫の魅力を広く県内外に発信するミュージアムへの県民の理解を深め、開館に向けた機運を高める事が期待できる。 								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	交流五国				所管課班	地域創生局 地域創生担当			
事業名	阪神・淡路大交流プロジェクト				連絡先	078-362-4261			
事業に要するコスト	区分	30年度決算額	元年度決算額	2年度当初予算額	3年度当初予算額				
	事業費①	—	—	—	8,000 千円				
	経費内訳	報酬・賃金	—	—	—	0 千円			
		委託料	—	—	—	7,000 千円			
		補助金・交付金	—	—	—	0 千円			
		貸付金	—	—	—	0 千円			
		その他需用費等	—	—	—	1,000 千円			
	(財源内訳)	(国庫支出金)	—	—	—	(6,000千円)			
		(県債)	—	—	—	(0千円)			
		(その他[基金、寄付金])	—	—	—	(0千円)			
		(一般財源)	—	—	—	(2,000千円)			
	人件費② (a+b+c)	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	1.0人
		—		—		—		8,735 千円	
		職員給与費 a	—	—	—	7,607 千円			
		賞与引当金繰入額 b	—	—	—	582 千円			
退職手当引当金繰入額 c		—	—	—	546 千円				
総コスト (①+②) [うち事業拡大分]	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	1.0人	
	—		—		—		16,735 千円		
	—		—		—		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】		
	ランドデザインの検討	目標	—	—	—	—	ペイ法改正に向け新たなランドデザインを策定		
		実績(見込)	—	—	—	—	【令和6年度】		
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]	—	—	—	—			
		達成率(見込)	—	—	—	—			
評価	・WMGや万博、IR誘致、神戸のウォーターフロント開発を契機に、空港・主要駅からの移動実態調査や大阪湾海上交通の充実に向けた実証実験を行い、大阪湾バイエリアのランドデザインの検討を行う。								
3年目の見直し									

事務事業評価調書

施策体系	交流五国			所管課班	国際交流課地域国際化班			
事業名	ひょうご多文化共生総合相談センターの運営（令和元年度～）			連絡先	078-362-3025			
事業に要するコスト	区分	30年度決算額	元年度決算額	2年度当初予算額	3年度当初予算額			
	事業費①	—	35,185千円	42,909千円	41,816千円			
	経費内訳	報酬・賃金	—	—	0千円	0千円		
		委託料	—	35,185千円	42,909千円	41,816千円		
		補助金・交付金	—	—	0千円	0千円		
		貸付金	—	—	0千円	0千円		
		その他需用費等	—	—	0千円	0千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	—	(10,000千円)	(10,996千円)	(10,996千円)		
		（県債）	—	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他[]）	—	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（一般財源）	—	25,185千円	(31,913千円)	(30,820千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	—	従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	従事人員 0.1人		
			—	840千円	899千円	874千円		
		職員給与費 a	—	727千円	770千円	761千円		
		賞与引当金繰入額 b	—	58千円	55千円	58千円		
退職手当引当金繰入額 c		—	55千円	74千円	55千円			
総コスト（①+②）	従事人員	—	従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	従事人員 0.1人			
		—	36,025千円	43,808千円	42,690千円			
	[うち事業拡大分]	—	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】	
		目 標	—	3,000	3,000	3,000		
	相談件数	実績（見込）	—	(2,868)	(3,000)	(3,000)		
		(単位当たりコスト)	—	(13千円)	(15千円)	(14千円)	/	
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	(95.6%)	(100.0%)	(100.0%)		
	おすまいの市・町は、外国人にも住みやすくなっていると思う人の割合（県民意識調査）	目 標	—	20.0%	26.0%	27.0%		
		実績（見込）	—	25.7%	23.8%	27.0%		
		(単位当たりコスト)	—	(0千円)	(0千円)	(0千円)	/	
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—		
達成率（見込）	—	(128.5%)	(91.5%)	(100.0%)				
評価	<p>・国の「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」を受けて、法務省の交付金を活用し、外国人県民インフォメーションセンターによる平日相談に加え、NPO団体と連携した週末相談のほか、翻訳サービス等を活用した11言語対応する「ひょうご多文化共生総合相談センター」を運営。今後、増加が見込まれる県内に居住する外国人県民に即応し、今年度は新型コロナウイルスに関連した生活相談にも対応。</p>							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	交流五国			所管課班	観光企画課企画調査班			
事業名	「五つ星ひょうご」プロモーション事業（平成28年度～）			連絡先	078-362-3837			
事業に要するコスト	区分	30年度決算額	元年度決算額	2年度当初予算額	3年度当初予算額			
	事業費①	24,000千円	24,000千円	24,000千円	23,000千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	24,000千円	24,000千円	24,000千円	23,000千円		
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他[]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（一般財源）	(24,000千円)	(24,000千円)	(24,000千円)	(23,000千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人		
			4,339千円	4,200千円	4,492千円	4,368千円		
		職員給与費 a	3,908千円	3,636千円	3,848千円	3,804千円		
		賞与引当金繰入額 b	274千円	291千円	274千円	291千円		
退職手当引当金繰入額 c		157千円	273千円	370千円	273千円			
総コスト（①+②）	従事人員	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人			
		28,339千円	28,200千円	28,492千円	27,368千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】	
	五つ星ひょうご選定商品数（活力あるふるさと兵庫実現プログラム）	目標	50商品	50商品	50商品	50商品		
		実績（見込）	69商品	68商品	(74商品)	(50商品)		
		（単位当たりコスト）	-	-	-	-		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-		
	達成率（見込）	138.0%	136.0%	(148.0%)	(100.0%)			
	兵庫県の魅力度 ※(株)ブランド総合研究所「地域ブランド調査」	目標	10位以内	10位以内	10位以内	10位以内		
		実績（見込）	12位	12位	(12位)	(10位)		
		（単位当たりコスト）	-	-	-	-		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-		
達成率（見込）	-	-	-	-				
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信や展示販売等により特産品プロモーションを全国に向けPRすることにより、兵庫県特産品のブランドイメージの定着・向上を図ることに寄与する。 ・県内特産品の宣伝・紹介を行う唯一の県域団体である(公社)兵庫県物産協会が新規商品開拓から商品選定、物産展の開催等の各種プロモーションまでトータルコーディネートを行い、効率的な執行を図っている。 ・新規商品開拓を進め、R2年度は74商品を五つ星ひょうごとして選定し、目標達成。今後は選定商品の販路拡大に向け、ブランドの更なる認知度向上に努める。 							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	交流五国				所管課班	観光企画課企画調査班			
事業名	観光産業の人材確保・養成事業（平成28年度～）				連絡先	078-362-3616			
事業に要するコスト	区分	30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額	
	事業費①	10,000千円		7,000千円		7,000千円		7,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金	50千円		50千円		50千円		50千円
		委託料	7,700千円		5,793千円		4,793千円		4,793千円
		補助金・交付金	2,000千円		907千円		1,907千円		1,907千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	250千円		250千円		250千円		250千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(5,000千円)		(3,500千円)		(0千円)		(0千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他〔地域創生基金繰入金〕）	(5,000千円)		(3,500千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(7,000千円)		(7,000千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.5人		0.5人		0.5人		0.5人
			4,339千円		4,200千円		4,492千円		4,368千円
		職員給与費 a	3,908千円		3,636千円		3,848千円		3,804千円
		賞与引当金繰入額 b	274千円		291千円		274千円		291千円
退職手当引当金繰入額 c		157千円		273千円		370千円		273千円	
総コスト（①+②）	従事人員	0.5人		0.5人		0.5人		0.5人	
		14,339千円		11,200千円		11,492千円		11,368千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】		
		セミナー・研究会参加者数（地域創生アクションプラン）	目標	50	50	50	50		
		実績（見込）	51	47	中止	(50)			
		（単位当たりコスト）	(281千円)	(238千円)	—	(227千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
		達成率（見込）	102.0%	94.0%	—	(100.0%)			
	インターンシップ参加者数	目標	50	50	50	50			
		実績（見込）	62	40	中止	(50)			
		（単位当たりコスト）	(231千円)	(0千円)	—	(0千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率（見込）	124.0%	80.0%	—	(100.0%)				
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・旅館等では人材の確保・育成が非常に困難な状況にあるため、観光産業のやりがい・魅力の発信を行い業界のイメージアップを図るとともに、地元への愛着等の醸成により観光産業に携わる人材の裾野拡大を図ることに寄与することを目的として実施している。 ・企画提案コンペによる民間活力の活用や、地域の実情に応じて関係機関（旅館組合、観光協会、大学、民間事業者等）と連携することにより、効果的・効率的な執行を行っている。 ・民間事業者・大学等と連携することにより、平成30年度は説明会及びインターンシップの目標参加人数を達成。コロナの影響により令和元年度・2年度は目標に届かなかった。 								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	交流五国			所管課班	観光企画課企画調査班			
事業名	神戸ルミナリエ開催事業（平成9年度～）			連絡先	078-362-3616			
事業に要するコスト	区分	30年度決算額	元年度決算額	2年度当初予算額	3年度当初予算額			
	事業費①	45,300千円	45,300千円	35,300千円	35,300千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	45,300千円	45,300千円	35,300千円	35,300千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他〔地域創生基金、ふるさとひょうご寄附基金〕）	(45,300千円)	(45,300千円)	(300千円)	(300千円)		
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(35,000千円)	(35,000千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人		
			1,736千円	1,679千円	1,797千円	1,746千円		
		職員給与費 a	1,563千円	1,454千円	1,539千円	1,521千円		
		賞与引当金繰入額 b	110千円	116千円	110千円	116千円		
退職手当引当金繰入額 c		63千円	109千円	148千円	109千円			
総コスト（①+②）	従事人員	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人			
		47,036千円	46,979千円	37,097千円	37,046千円			
	〔うち事業拡大分〕	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】	
		来場者数 （活力あるふるさとひょうご実現プログラム指標）	目標	350	350	350	350	/
	実績（見込）	343	347	中止	(350)			
	（単位当たりコスト）	(137千円)	(135千円)	—	(106千円)			
	〔うち事業拡大分〕	—	—	—	—			
	達成率（見込）	98.0%	99.1%	—	(100.0%)			
	来場者評価 （神戸ルミナリエ組織委員会「神戸ルミナリエ評価・効果測定調査」）	目標	「好印象」 95%以上	「好印象」 95%以上	「好印象」 95%以上	「好印象」 95%以上	/	
		実績（見込）	98.3%	98.0%	中止	95.0%		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		〔うち事業拡大分〕	—	—	—	—		
達成率（見込）		103%	103%	—	100%			
評価	<p>・神戸ルミナリエは、阪神・淡路大震災犠牲者の鎮魂と都市の復興・再生を託して開催され、人々に希望と勇気をもたらすイメージシンボリックな役割を担っているため、継続開催の必要がある。</p> <p>・平成30年度は、来場者数が目標値の98%、令和元年度は前年度よりさらに43,000人増え、目標値の99.1%を達成したものの、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止となった。</p> <p>・今後は、国内観光における誘客促進事業の拡充など、様々な取組を総合的に推進することにより目標達成に努める。</p>							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	交流五国		所管課班	観光推進課誘客促進班				
事業名	あいたい兵庫キャンペーン2021実施事業（平成21年度～）		連絡先	078-362-3340				
事業に要するコスト	区分	30年度決算額	元年度決算額	2年度当初予算額	3年度当初予算額			
	事業費①	43,000千円	40,000千円	40,000千円	35,000千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	43,000千円	40,000千円	40,000千円	35,000千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(21,500千円)	(20,000千円)	(20,000千円)	(17,500千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他[基金繰入金]）	(21,500千円)	(20,000千円)	(20,000千円)	(17,500千円)		
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人		
			8,677千円	8,399千円	8,983千円	8,735千円		
		職員給与費 a	7,816千円	7,271千円	7,695千円	7,607千円		
		賞与引当金繰入額 b	548千円	582千円	548千円	582千円		
退職手当引当金繰入額 c		313千円	546千円	740千円	546千円			
総コスト（①+②）	従事人員	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人			
		51,677千円	48,399千円	48,983千円	43,735千円			
	〔うち事業拡大分〕	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】	
		目 標	110.0%	110.0%	110.0%	110.0%	-	
	県内主要観光施設の観光入込客数の対前年度比平均伸び率（地方創生戦略アクションプラン）	実績（見込）	106.4%	107.1%	(110.0%)	(110.0%)	/	
		（単位当たりコスト）	-	-	-	-		
	〔うち事業拡大分〕	-	-	-	-			
	達成率（見込）	96.7%	97.4%	(100.0%)	(100.0%)			
	観光入込客数（活力あるふるさと兵庫実現プログラム）	目 標	147百万人	150百万人	150百万人	150百万人	/	
		実績（見込）	137百万人	(137百万人)	(150百万人)	(150百万人)		
（単位当たりコスト）	(377千円)	(353千円)	(327千円)	(292千円)				
〔うち事業拡大分〕	-	-	-	-				
達成率（見込）	93.2%	91.3%	(100.0%)	(100.0%)				
評価	<p>・着実に県外からの観光客入込数の確保を図るためには、あいたい兵庫 destinations キャンペーン(H21年)等で得られたノウハウや成果を活かし、継続的に観光客の誘致に取り組む必要がある。</p> <p>・ツーリズムについての専門的知識と豊かな経験を有し、市町や観光協会、観光関連企業等と緊密な連携関係があるひょうご観光本部を事業主体として実施している。</p> <p>・県内主要観光施設の観光客入り込み数の対前年度比平均伸び率については、気候や社会情勢により目標(110%)に達していないこともあるが、前年以上入り込み数は達成している。</p> <p>・令和3年度は訴求力のあるテーマ設定のもと、雑誌・WEB・SNS等を活用したメディアミックスプロモーションを展開する。</p>							
3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系	交流五国				所管課班	観光企画課企画調査班				
事業名	ひょうごツーリズムバス実施事業（平成13年度～）				連絡先	078-362-3616				
事業に要するコスト	区 分	30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額		
	事業費①	56,596 千円		56,596 千円		56,596 千円		56,596 千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		補助金・交付金	56,596 千円		56,596 千円		56,596 千円		56,596 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他需用費等	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(28,298千円)		(28,298千円)		(28,298千円)		(28,298千円)	
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（その他〔地域振興基金、H30～地域創生基金〕）	(28,298千円)		(28,298千円)		(0千円)		(0千円)	
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(28,298千円)		(28,298千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.5人		0.5人		0.5人		0.5人	
			4,339 千円		4,200 千円		4,492 千円		4,368 千円	
		職員給与費 a	3,908 千円		3,636 千円		3,848 千円		3,804 千円	
		賞与引当金繰入額 b	274 千円		291 千円		274 千円		291 千円	
退職手当引当金繰入額 c		157 千円		273 千円		370 千円		273 千円		
総コスト（①+②）	従事人員	0.5人		0.5人		0.5人		0.5人		
		60,935 千円		60,796 千円		61,088 千円		60,964 千円		
	〔うち事業拡大分〕	[0千円]		[2,788千円]		[2,824千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】			
		バス助成台数(地域創生アクションプラン) (単位:台)	目 標	2,200	2,400	2,350	2,350			
		実績(見込)	2,215	2,103	(1,600)	(2,350)				
		(単位当たりコスト)	(28 千円)	(29 千円)	(38 千円)	(26 千円)				
		〔うち事業拡大分〕	—	[1千円]	[2千円]	—				
		達成率(見込)	100.7%	87.6%	(68.1%)	(100.0%)				
	観光入込客数 (活力あるふるさと兵庫実現プログラム) (単位:百万人)	目 標	147	150	150	150				
		実績(見込)	137	137	(150)	(150)				
		(単位当たりコスト)	(445 千円)	(444 千円)	(407 千円)	(406 千円)				
		〔うち事業拡大分〕	—	[20千円]	[19千円]	—				
達成率(見込)		93.2%	91.3%	(100.0%)	(100.0%)					
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・本県へのバスを活用した旅行に対して助成を行うことは、国内外からの観光客の本県への誘致に大きく寄与する。 ・(公社)ひょうご観光本部に補助することにより、同本部が申請受付から実施確認、助成金支払いまで一括して行っており、効率的な執行を図っている。 ・約2,200台のバス助成を行っていることは、旅行先を選ぶ際の大きなインセンティブになっていると考えられる。 ・R2年度は、新型コロナウイルスの影響により旅行のキャンセルが多く、目標値は達成出来ない見込み。R3年度も引き続き、県内の多彩なツーリズム資源を生かし、県外からの来訪客の誘致促進を図る。 									
3年目の見直し	—									

事務事業評価調書

施策体系	交流五国			所管課班	観光推進課誘客促進班					
事業名	インバウンド対策推進に向けたDMO参画事業（平成26年度～）			連絡先	078-362-9037					
事業に要するコスト	区分	30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額		
	事業費①	16,650千円		16,650千円		16,650千円		16,650千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円	
		補助金・交付金	16,650千円		16,650千円		16,650千円		16,650千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他需用費等	0千円		0千円		0千円		0千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（その他[]）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（一般財源）	(16,650千円)		(16,650千円)		(16,650千円)		(16,650千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.3人		0.3人		0.3人		0.3人	
			2,603千円		2,671千円		2,695千円		2,621千円	
		職員給与費 a	2,345千円		2,312千円		2,309千円		2,282千円	
		賞与引当金繰入額 b	164千円		164千円		164千円		175千円	
退職手当引当金繰入額 c		94千円		195千円		222千円		164千円		
総コスト（①+②）	従事人員	0.3人		0.3人		0.3人		0.3人		
		19,253千円		19,321千円		19,345千円		19,271千円		
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】			
		瀬戸内7県への外国人延べ宿泊者数（単位：万人）	目標	430	508	600	100	290		
		実績（見込）	382	440	(600)	(100)	【令和5年度】			
		（単位当たりコスト）	(50千円)	(44千円)	(32千円)	(193千円)	/			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-				
		達成率（見込）	88.8%	86.6%	(100.0%)	(100.0%)				
	訪日外客数（兵庫県）（ひょうごツーリズム戦略）（単位：万人）	目標	214	260	235	270	600			
		実績（見込）	187	193	(235)	(270)	【令和12年度】			
		（単位当たりコスト）	(103千円)	(100千円)	(82千円)	(71千円)	/			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-				
	達成率（見込）	87.4%	74.2%	(100.0%)	(100.0%)					
評価	<ul style="list-style-type: none"> 海外からの誘客を促進するため、広域エリア全体を俯瞰しマネジメントできる官民連携組織として事業を展開 民間企業からの負担金や国費の活用など、コスト削減に取り組むとともに、民間の人材も活用し、より効率的・効果的な事業を実施 世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外国人旅行者数は落ち込む見込みだが、インバウンド再開を見据え、オンラインでの情報発信に加え、海外の旅行会社を活用したプロモーション等を展開する。 									
	3年目の見直し	—								

事務事業評価調査

施策体系	交流五国			所管課班	観光推進課誘客促進班				
事業名	インバウンドプロモーション事業（平成29年度～）			連絡先	078-362-9037				
事業に要するコスト	区分	30年度決算額	元年度決算算額	2年度当初予算額	3年度当初予算額				
	事業費①	45,754千円	34,603千円	82,129千円	71,172千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円			
		補助金・交付金	45,754千円	34,603千円	82,129千円	71,172千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(23,751千円)	(14,999千円)	(19,007千円)	(17,323千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他〔地域創生基金〕）	(22,003千円)	(14,999千円)	(0千円)	(0千円)			
		（一般財源）	(0千円)	(4,605千円)	(63,122千円)	(53,849千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人
			8,677千円	8,904千円	8,983千円	8,735千円			
		職員給与費 a	7,816千円	7,708千円	7,695千円	7,607千円			
		賞与引当金繰入額 b	548千円	545千円	548千円	582千円			
退職手当引当金繰入額 c		313千円	651千円	740千円	546千円				
総コスト（①+②）	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	
		54,431千円	43,507千円	91,112千円	79,907千円				
	[うち事業拡大分]	[7,328千円]	[0千円]	[47,526千円]	[10,464千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】		
		訪日外客数(兵庫県) (ひょうごツーリズム戦略) (単位:万人)	目標	214	260	235	270	600	
		実績(見込)	187	193	(235)	(270)	【令和12年度】		
		(単位当たりコスト)	(291千円)	(225千円)	(388千円)	(296千円)	/		
		[うち事業拡大分]	[39千円]	[0千円]	[202千円]	[39千円]			
		達成率(見込)	87.4%	74.2%	(100.0%)	(100.0%)			
	海外プロモーション件数 (地域創生戦略事業進捗指標)	目標	24	36	61	73	109		
		実績(見込)	38	49	(57)	(73)	【令和6年度】		
		(単位当たりコスト)	(1,432千円)	(888千円)	(1,598千円)	(1,095千円)	/		
		[うち事業拡大分]	[193千円]	[0千円]	[834千円]	[143千円]			
	達成率(見込)	158.3%	136.1%	(93.4%)	(100.0%)				
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひょうごツーリズム戦略」(2020~2022)に基づき、海外プロモーションをはじめとした誘客の取組を総合的に実施 ・事業実施にあたっては、民間事業者や広域DMOとの連携、国制度の活用等により、効率化・コスト削減に取組む。 ・R3は、来年度後半のインバウンド再開を見据え、外国人旅行者の関心に応える情報発信・プロモーションを展開する。 								
	3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	交流五国				所管課班	観光推進課誘客促進班			
事業名	ゴールデンスポーツイヤーズを捉えたインバウンド誘客事業（令和元年度～）				連絡先	078-362-3340			
事業に要するコスト	区分	30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額	
	事業費①	—		27,744千円		18,242千円		—	
	経費内訳	報酬・賃金	—		0千円		0千円		—
		委託料	—		0千円		0千円		—
		補助金・交付金	—		27,744千円		18,242千円		—
		貸付金	—		0千円		0千円		—
		その他需用費等	—		0千円		0千円		—
	（財源内訳）	（国庫支出金）	—		（0千円）		（5,580千円）		—
		（県債）	—		（0千円）		（0千円）		—
		（その他[]）	—		（0千円）		（0千円）		—
		（一般財源）	—		（27,744千円）		（12,662千円）		—
	人件費②（a+b+c）	従事人員	—		従事人員 1.0人		従事人員 1.0人		従事人員 —
			—		8,399千円		8,735千円		—
職員給与費 a		—		7,271千円		7,607千円		—	
賞与引当金繰入額 b		—		582千円		582千円		—	
退職手当引当金繰入額 c		—		546千円		546千円		—	
総コスト（①+②）	従事人員	—		従事人員 1.0人		従事人員 1.0人		従事人員 —	
		—		36,143千円		26,977千円		—	
	[うち事業拡大分]	—		[0千円]		[0千円]		—	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】		
	訪日外客数(兵庫県) (地域創生戦略事業進捗指標) (活力あるふるさと兵庫実現プログラム目標) (単位:万人)	目標	—	260	235	—	/		
		実績(見込)	—	193	(235)	—			
		(単位当たりコスト)	—	(187千円)	(115千円)	—			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率(見込)	—	74.2%	(100.0%)	—				
	海外プロモーション件数 (地域創生戦略事業進捗指標)	目標	—	36	61	—	/		
		実績(見込)	—	(49)	(57)	—			
		(単位当たりコスト)	—	(738千円)	(473千円)	—			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
達成率(見込)	—	(136.1%)	(93.4%)	—					
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールデンスポーツイヤーズは海外から日本・関西への関心が高まる好機であり、事業の必要性は高い。 ・これまでに「RWC2019日本大会」開催を契機とした欧州現地セミナー、旅ナカ（日本旅行中）外国人への情報発信、オンライン広告等、多角的なプロモーションに取組み、本県への誘客促進を図ってきた。 ・世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、来年度後半のインバウンド再開を見据え、より一体的な情報発信・プロモーションを展開するため、「インバウンドプロモーション事業」に組み替える。 								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	交流五国			所管課班	観光推進課誘客促進班				
事業名	「陸海空交通」と連携した国内誘客の強化事業（令和3年度～）			連絡先	078-362-3340				
事業に要するコスト	区分	30年度決算額	元年度決算額	2年度当初予算額	3年度当初予算額				
	事業費①	—	—	—	15,400 千円				
	経費内訳	報酬・賃金	—	—	—	0 千円			
		委託料	—	—	—	0 千円			
		補助金・交付金	—	—	—	15,400 千円			
		貸付金	—	—	—	0 千円			
		その他需用費等	—	—	—	0 千円			
		（財源内訳）	—	—	—	—			
		(国庫支出金)	—	—	—	(0千円)			
		(県債)	—	—	—	(0千円)			
		(その他[基金繰入金])	—	—	—	(0千円)			
		(一般財源)	—	—	—	(15,400千円)			
	人件費② (a+b+c)	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	0.5人
			—	—	—	4,368 千円			
		職員給与費 a	—	—	—	3,804 千円			
賞与引当金繰入額 b		—	—	—	291 千円				
退職手当引当金繰入額 c		—	—	—	273 千円				
総コスト (①+②)	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	0.5人	
		—	—	—	19,768 千円				
	[うち事業拡大分]	—	—	—	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】		
	県外からの県内来訪者数(1日当たり)(地方創生戦略アクションプラン)	目標	—	—	—	154千人	166千人		
		実績(見込)	—	—	—	(154千円)	【令和R6年度】		
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率(見込)	—	—	—	(100.0%)				
	観光入込客数(活力あるふるさと兵庫実現プログラム)	目標	—	—	—	150百万人			
		実績(見込)	—	—	—	(150百万人)			
		(単位当たりコスト)	—	—	—	(132千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
達成率(見込)	—	—	—	(100.0%)					
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・WMG関西、大阪・関西万博と国際的ビッグイベントにより関西への注目が集まる好機に合わせ、交通事業者と連携した誘客事業を実施。 ・移手段を担う交通事業者の事業参画により、PR効果が日本全国に波及することから、誘客効果は高く、事業の必要性は高い。 ・「陸海空」それぞれの強みと、本県が有する観光素材・コンテンツを組み合わせることで、相乗効果を高める取組を実施する。 								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	交流五国				所管課班	空港政策課 運営企画班				
事業名	但馬路線運航対策事業（平成7年度～）				連絡先	078-362-3561				
事業に要するコスト	区分	30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額		
	事業費①	206,940千円		182,477千円		182,200千円		179,571千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円	
		補助金・交付金	206,940千円		182,477千円		182,200千円		179,571千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他需用費等	0千円		0千円		0千円		0千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（その他[]）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（一般財源）	(206,940千円)		(182,477千円)		(182,200千円)		(179,571千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	
		868千円		840千円		899千円		874千円		
職員給与費 a		782千円		727千円		770千円		761千円		
賞与引当金繰入額 b		55千円		58千円		55千円		58千円		
退職手当引当金繰入額 c		31千円		55千円		74千円		55千円		
総コスト（①+②）	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人		
		207,808千円		183,317千円		183,099千円		180,445千円		
	うち事業拡大分	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】			
	但馬空港旅客数[単年] (活力あるふるさと兵庫実現プログラム)	目標	37,000	45,000	46,500	48,000	48,000			
		実績(見込)	42,220	40,559	(17,000)	(48,000)	【令和3年度】			
		(単位当たりコスト) うち事業拡大分	(5千円)	(5千円)	(11千円)	(4千円)				
		達成率(見込)	114.1%	90.1%	(36.6%)	(100.0%)				
	目標	目標	-	-	-	-				
		実績(見込)	-	-	-	-				
		(単位当たりコスト) うち事業拡大分	-	-	-	-				
		達成率(見込)	-	-	-	-				
	評価	<p>・但馬-伊丹路線は、伊丹空港を經由して全国につながる貴重な高速移動手段であり、交流人口を拡大し地域活性化を図る上で、今後も維持が必要。</p> <p>・運航で生じた前年度の欠損補填は、運航事業者から県に提示されている運航条件であり、路線維持には当該補助事業の実施が不可欠。</p> <p>・これまで、地元や運航事業者等と連携し、利用促進を図ってきた結果、当該路線の利用者数は順調に伸びてきたが、令和元年度は3月以降、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う移動自粛の影響により、利用者数が減少し、目標の旅客数を下回った。令和2年度も同じ傾向が続いている。</p> <p>・今後、航空需要の動向を見極めながら引き続き、地元や運航事業者等と連携し、但馬地域や空港のPR等による需要喚起に向けた利用促進策に取り組む。</p>								
3年目の見直し	-									

事務事業評価調書

施策体系	交流五国				所管課班	交通政策課 地域交通班			
事業名	バス対策事業				連絡先	078-362-3885			
事業に要するコスト	区分	30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額	
	事業費①	138,012千円		138,812千円		157,115千円		155,841千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	138,012千円		138,812千円		157,115千円		155,841千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	0千円		0千円		0千円		0千円
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(県債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(75,000千円)
		(その他[])	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(一般財源)	(138,012千円)		(138,812千円)		(157,115千円)		(80,841千円)
	人件費② (a+b+c)	従事人員	0.6人		0.6人		0.6人		0.6人
			5,206千円		5,039千円		5,390千円		5,241千円
		職員給与費 a	4,690千円		4,363千円		4,617千円		4,564千円
		賞与引当金繰入額 b	329千円		349千円		329千円		349千円
退職手当引当金繰入額 c		188千円		328千円		444千円		328千円	
総コスト (①+②)	従事人員	0.6人		0.6人		0.6人		0.6人	
		143,218千円		143,851千円		162,505千円		161,082千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】		
	支援対象路線の輸送人員	目標	7,873千人	7,877千人	8,007千人	8,220千人	-		
		実績(見込)	8,038千人	8,220千人	(7,286千人)	(8,220千人)			
		(単位当たりコスト)	(18千円)	(18千円)	(22千円)	(20千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
		達成率(見込)	102.1%	104.4%	(91.0%)	(100.0%)			
		目標	-	-	-	-	-		
		実績(見込)	-	-	-	-			
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
達成率(見込)		-	-	-	-				
評価	<p>・利用者の減少等により、路線維持が困難な状況にある中で、通勤・通学、通院、買い物等の住民の日常生活を支える生活交通バスを維持・確保するため、国や関係自治体とともに、路線バスやコミュニティバスの運行を支援する必要がある。</p> <p>・県と市町の役割分担を踏まえた負担割合を設定し、市町とともにバスの運行実績に対する評価・改善を継続的に行い、効果的な事業運営を図っている。</p> <p>・令和2年度の年間輸送人員は、県、市町、事業者と連携したバスの利用促進の取組等に努めたものの、新型コロナウイルス感染症拡大防止として行われた外出自粛要請や休校措置等の影響により、人の動きが抑制されたことから、目標値の達成には至らなかったが、今後も、国の補助制度の活用や県独自の補助制度等により、県民の移動手段の確保に努める。</p>								
3年目の見直し									

事務事業評価調書

施策体系		交流五国		所管課班		交通政策課 計画班				
事業名		北近畿タンゴ鉄道上下分離基盤管理費補助（平成27年度～）		連絡先		078-362-3884				
事業に要するコスト	区分	30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額		
	事業費①	17,006 千円		17,612 千円		17,913 千円		18,203 千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		補助金・交付金	17,006 千円		17,612 千円		17,913 千円		18,203 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他需用費等	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(8,000千円)	
		（その他[]）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（一般財源）	(17,006千円)		(17,612千円)		(17,913千円)		(10,203千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.2人		0.2人		0.2人		0.2人	
			1,735 千円		1,680 千円		7,953 千円		1,747 千円	
		職員給与費 a	1,563 千円		1,454 千円		7,695 千円		1,521 千円	
		賞与引当金繰入額 b	110 千円		116 千円		110 千円		116 千円	
退職手当引当金繰入額 c		63 千円		109 千円		148 千円		109 千円		
総コスト（①+②）	従事人員	0.2人		0.2人		0.2人		0.2人		
		18,741 千円		19,292 千円		25,866 千円		19,950 千円		
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】			
		年間輸送人員	目標	1,975 千人	2,000 千人	2,000 千人	2,000 千人	—		
		実績（見込）	1,651 千人	1,579 千人	(941千人)	(2,000千人)				
		(単位当たりコスト)	(11 千円)	(12 千円)	(27 千円)	(10 千円)				
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—				
	達成率（見込）	83.6%	79.0%	(47.1%)	(100.0%)					
	年間輸送人員	目標	—	—	—	—	—			
		実績（見込）	—	—	—	—				
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—				
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—				
達成率（見込）		—	—	—	—					
評価	<p>・鉄道沿線地域の生活交通路線であるとともに、地域活性化を図る上でも必要不可欠な路線であるため、関係自治体と協調して支援を行う。</p> <p>・北近畿タンゴ鉄道沿線地域公共交通網形成計画に基づき、民間事業者のノウハウの活用等により、効率的な事業実施を図っていく。</p> <p>・令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴う移動自粛により、年間輸送人員は目標を大幅に下回る見通しである。新型コロナウイルスの収束時期が見通せない状況ではあるが、今後も地域や運行会社等と連携した利用促進を行い、利用者の回復に取り組んでいく。</p>									
3年目の見直し	—									